

Report

# FACEs Workshop 2020

学術委員長 福島県立医科大学形成外科 小山明彦

第38回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会「FACEs 2020」終了翌日の11月14日（土）に、第16回学術講習会「FACEs Workshop 2020」が、慶応大学信濃町キャンパスの組織実習室にて開催されました。

今回は「実践：Craniosynostosisのモデルサージャリー」というテーマで、頭蓋骨縫合早期癒合症の実態模型を用いて骨切りを体験する実践的なトレーニングコースです。本講習会初の内容となります。

委員長がコースディレクターを務め、慶応大学形成外科の坂本好昭先生にコーディネーターと講師を担当いただき、当日は委員の秋元正宇先生と理事の土佐泰祥先生、そして慶応大学形成外科の教室員のみなさまにお手伝いいただきました。外部講師として、慶応大学脳神経外科の三輪点先生をお招きしました。

講習会の受講応募開始からわずか3日ほどで定員を超える申し込みがあり、卒後4年目から53年目までという大変幅広い年代から応募をいただきました。最終的には22名の受講生が全国から集まってくださいました。



慶応大学形成外科 坂本好昭 先生

Craniosynostosisの病態、病型、cranioplastyの歴史、方法、目的、適応など、craniofacial surgeonとしておさえておくべき基礎知識について講義していただきました。



慶応大学脳神経外科 三輪点 先生

cranioplastyに必要な解剖、皮膚切開から開頭に至る手術の要点、pitfallや緊急時の対応など、脳神経外科の観点から極めて重要な内容の講義をしていただきました。

朝9時に委員長のopening remarkとオリエンテーションで開講し、午前中は、この領域のspecialistである脳神経外科医の三輪先生と形成外科医の坂本先生に講義をしていただきました。

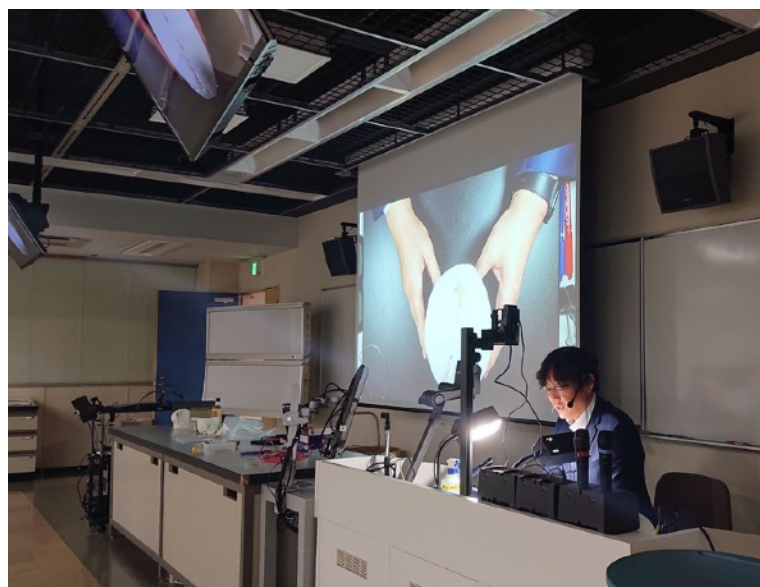
続いて、委員長より、Marchacのテンプレートを用いたcranioplastyの原理とデザインの手順に関して、実践に即した講義がありました。

3つの講義のあとは実習室に場を移して、いよいよcraniosynostosisの実態模型を用いた実習の開始です。今回は非対称を対称形に構築する難しさと面白さを体験していただくために、frontal plagiocephaly（片側冠状縫合早期癒合症）のモデルを用意しました。

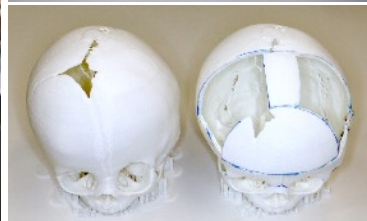
Supra-orbital barの設定、Marchacテンプレートによるfrontal bone flapの位置決め、開頭範囲の画定など、モデル上にラインを描いて、骨切りのデザインを学びました。

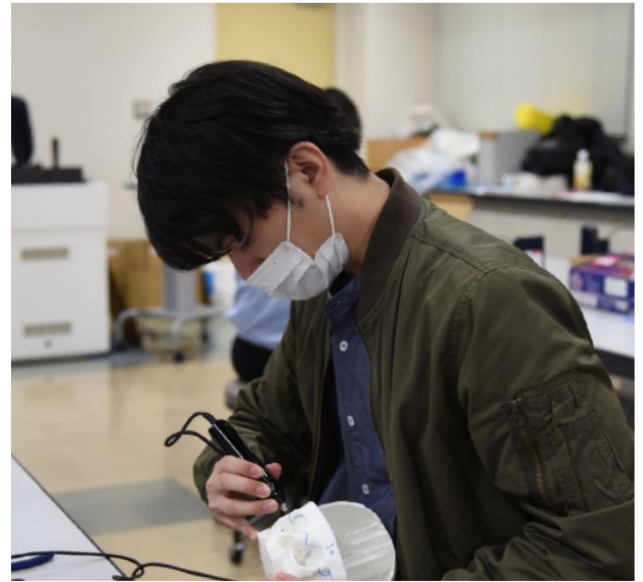
デザインを完成させたところで、午前の部が終了となり、ランチタイムです。

午後の部は、モデルの骨切りと組み立ての実習です。超音波カッターを用いて、デザイン通りに頭蓋骨をカッティングしていきます。特にsupra-orbital barを切り出す際のsphenoid ridgeからorbital roofの骨切りは理解が難しい部分ですが、実態モデルを用いることで、手順やコツをしっかりと習得できたよ



委員長によるMarchacのテンプレートを用いたモデルサージャリーのデモンストレーション





骨切り後は、切り出した骨片の組み立てです。Supra-orbital barを正中で切断し、frontal bone flapに固定して歪みを解消した新たなfronto-orbital segmentを構築し、対称な眼窩前頭を持つ美しい頭蓋冠を組み立てていきます。モデルの素材の性質上、接着剤による固定が得られにくく、大変苦勞をかけしてしまいました。それでもみなさんと集中して構築に励んでいました。



Cranioplastyの実習のあとは、もう一つのモデル、Crouzon病の実態モデルを用いたLe Fort III型骨切りの実習です。坂本先生から、Le Fort III骨切りのポイントとpitfallなど、重要な基礎知識のレクチャーのあと、実際にモデルをカッターでカットしました。骨切り後にdown fractureが容易にできなかったのは、モデル作成の設定の不備でサポートが強すぎたため、委員長の不手際です…（すみませんでした）。それでも、骨切りを行う部位、そしてその手順をしっかり理解できたと思います。

朝9時から午後5時まで、あっという間の1日でした。長丁場にも関わらず、実習に真剣に取り組む受講生のみなさんの姿は大変素晴らしかったです。

今回の講習会は申し込み数があっという間に定員に達してしまい、受講が叶わなかった希望者がたくさんいらっしゃったと思います。このテーマはまた近い将来にさらに洗練した形で開催したいと思いますので、またの機会をお待ち下さい。

また、次回の講習会「FACEs Workshop 2021」への参加もお待ちしております。



受講生とfacultyのみなさん

## Timetable

	テーマ	時間	内容	講師
9:00	開会の挨拶	5		小山明彦
9:05	オリエンテーション	5	プログラムの説明	小山明彦
9:10	【1】Cranioplasty総論	45	アプローチとピットフォール：脳神経外科の立場から	脳神経外科 三輪 点
9:55	【2】Craniosynostosis総論	45	治療目標とcranioplasty	坂本好昭
10:40	coffee break	10		
10:50	【3】Cranioplastyのモデルサージャリー1 - demonstration & design -	70	Marchacのテンプレートによるcranioplastyのconceptを理解する	小山明彦
12:00	Lunch	60		
13:00	【4】Cranioplastyのモデルサージャリー2 - practice -	90	Plagiocephalyの骨切りと組み立ての実習	小山明彦 faculty
14:30	coffee break	10		
14:40	【5】Le Fort III型骨切りのモデルサージャリー1 - lecture & demonstration -	30	Le Fort III型骨切りを理解する	坂本好昭
15:10	【6】Le Fort III型骨切りのモデルサージャリー2 - practice -	80	Crouzon病のLe Fort III型骨切りの実習	坂本好昭 faculty
16:30	discussion	20		all
16:50	修了証授与	10		
17:00	終了			